

母塾

2019・3・12

VOI-16



新小岩幼稚園・未就園児クラス

『しつけ糸・卒園に向けて』

アドバイザー 猪之鼻晴子

つき組さんはもう卒園式間近ですね。新小岩幼稚園での生活はいかがでしたでしょうか。

3才から小学校入学までの時期はその子の根が育つ大事な時期です。たった3年間だけでも、誰とどこで、何をして過ごしたかということが大切です。何センチ大きくなって、何キロ増えたということ以上に、どういう時間を過ごしたかという「時間の質」が大事なのだと思います。ママと離れずに門で泣いていた子が、ママの知らないどんな時間を作っていたのでしょうか。園服のポケットから砂がこぼれて、ダンゴ虫が入っていて、どんぐりや花びらを持って来て。知らない歌をうたい、知らないお友だちの名前が出てきて。たぶん、門で離れた朝の子どもと、お迎えに行った午後の子どもは同じ子ではないのでしょうか。卒園式でのつき組さんはきっとママたちの知らない顔をして入場してくると思います。堂々とにこやかに。「ああ、こんな顔するんだ」と驚くでしょう。

幼稚園に講師として長年いらしてくださった久保田 浩先生のお話は今でも響いています。「あなたたちはしつけ糸なんでしょう」「しつけ糸は取ってしまうけれど、一番大事なんだよね」

子どもは何も持たずに生まれてきて、まっさらなところから、ここまで成長しました。家庭と幼稚園でたくさんの人にしつけ糸を付けてもらいながら。いずれしつけ糸は外されて、あったことも忘れられてしまうけれど、その子の原型はその糸がなければ出来上がらなかったものです。今大きくなった我が家の子どもたちにも必ず新小岩幼稚園のしつけ糸の跡は残っていると思います。

つき組の保護者のみなさま、おつかれさまでした。雨の中、暑い夏の日…。ぐずる子をなだめながら、着替えのない子を急がせながらの毎日。お迎えの時間を気にしながら、用事をもう一軒と焦ったり。手をつないで帰ることも幼稚園の間だけの思い出かもしれませんね。そして、つき組の幹事のみなさま、おつかれさまでした。大変なご苦労もあったと思います。ただご苦労された分、今後ずっと残るものになります。小学校・中学校ではもう味わえない子どもと過ごした密度の濃い時間は財産です。「ああ、私も一緒にがんばったな」と思える日が来ます。

卒園式でどんな姿が見られるか楽しみですね。ご卒園おめでとうございます。

harukoinohana1717@ezweb.ne.jp